

明治期私立法律学校の連携と対抗

—大学史資料の共同利用の可能性をさぐる—

開 催 趣 旨

明治10～20年代に近代法学普及の使命を担い続々と誕生した私立法律学校。東京・神田に所在した私立法律学校をルーツに持つ大学史機関担当者がそれぞれの所蔵資料や情報を横断的に活用した共同研究の成果報告。

私立法律学校の誕生・教育実態・学校間の競争と協力・法学教育の全国的普及への貢献など多様な視角からその存在意義に迫ります。

日 時 2016年1月28日（木曜日） 14時00分開始
（13時30分開場）

会 場 専修大学神田キャンパス5号館 541教室

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8

水道橋駅（JR）西口より徒歩7分

九段下駅（地下鉄／東西線、都営新宿線、半蔵門線）出口5より徒歩3分

神保町駅（地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線）出口A2より徒歩3分

主 催 法律学校研究会 全国大学史資料協議会東日本部会
入場無料

次 第

基調講演 坂詰智美氏（専修大学法学部准教授）

会津法律学校 —明治30年代にあった地方の法律学校の例として—

報 告 法律学校研究会会員

中川壽之（中央大学大学史資料課）

明治法典論争期における私立法律学校の連携と対抗

—中央と地方の視座から—

瀬戸口龍一（専修大学大学史資料課）

明治期における私立法律学校の連携 —「五大法律学校」とは何だったのか—

松原太郎（日本大学大学史編纂課）

資料情報共有化の活用事例 —明治期法律雑誌にみる日本法律学校草創期—

阿部裕樹（明治大学総務課大学史資料センター）

地方法律学校の分布と特徴

村松玄太（明治大学総務課大学史資料センター）

法律学校のカリキュラム、そして共同研究の意義

司 会 古俣達郎（法政大学史センター）

（本件に関する問合せ先）

専修大学総務部大学史資料課

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8

TEL:03-3265-5879 / FAX:03-3265-5923

Email:archives@acc.senshu-u.ac.jp